

# 平成28年度事業報告

## 1. 事業概要

平成28年度の我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続き、デフレから脱却し成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」を取りまとめ、雇用・所得環境の改善が続く中、この経済対策等の効果によって、景気は緩やかに回復していくことが見込まれています。

こうした中、平成28年度の事業実績は、年度末正会員数は1,371人で前年度に対して13人の減となり、受託件数は5,738件でほぼ横ばいとなりましたが、契約金額は741,517,707円で29,971,251円の増となりました。

一般家庭からの除草・植木剪定などの受注は、受託件数・契約金額ともに前年度からほぼ横ばいで、引き続き順調であったと考えられます。

地域に密着した公益社団法人としてシルバー人材センターは、会員による自主的・主体的な運営と共働・共助のもとで働くことを理念とし、創意工夫を重ね、高齢者の就業と会員の拡大を図りながら、地域社会の活性化に貢献してまいりました。

## 2. 事業実施状況

(1) 数値目標の達成については、つぎのとおりです。

- ① 会員数は、年度末直前までは前年を上回る数で推移しておりましたが、3月に入り、退会者数では前年同様でありながらも入会者数が伸び悩んだ結果、目標値1,500人に対して129人未達の1,371人で、前年同時期に対して微減となりました。
- ② 契約金額は、目標値750,000,000円に対して8,482,293円未達でしたが、前年度に対しては29,971,251円増の741,517,707円となりました。
- ③ 就業率は、目標値90%以上を達成し95.3%と、昨年度に比べ0.6ポイント増となりました。(3月末会員数基準)

(2) 就業機会の確保・提供について

- ① 入会説明会を50回(前年57回)実施し、延489名(同597名)の方が参加されました。これにより、シルバー人材センター事業の目的や趣旨に賛同した延315名(同363名)の方が新規に入会申し込みされました。また、男性会員に比べ少ない女性会員の登録数は351名と前年比7名減、構成率にして25.6%でほぼ前年同様となりました。引き続き女性向けの職種の拡大を図り、入会促進に向け努力してまいります。

- ② 会員からは随時就業相談を受け付け、また、会員状況相談書を通じて希望職種の見直しをお願いするなど、ミスマッチの解消を促進しました。また、事務局からの通信紙に就業会員募集情報を載せて、希望する会員を募ることで、会員の希望に、より近いマッチングになるように工夫しました。さらには、一定期間未就業の新規入会会員に対して、就業相談日を設け、その案内を通知して、積極的に未就業の解消に努めました。
- ③ イベント等での普及活動に加えて、民間や公共の宣伝媒体を活用し年間を通じてPR活動を行いました。また、関連機関を通じて公共施設等へチラシ・パンフレット等の配布を行い、受注確保や拡充を図りました。
- ④ 派遣事業の受注増に伴う事務量の増加に対応するため、主にシルバー派遣事業の営業活動及び付帯事務全般を行えるように、派遣コーディネーターの業務内容の見直しをはかりました。結果として派遣事業は、29件増の43件を受注し、92名の会員が就労し、前年度実績の延人員1,592人日に対して8,579人日と、約5.4倍の成長となりました。

### (3) 会員活動の充実について

- ① 駐輪場管理や公共施設管理に就業している会員を対象に「接遇力向上」「業務品質向上」をテーマに研修を実施し、全18回で計431名が参加しました。
- ② 植木作業に就業している会員25名を対象に「立木の伐木方法・安全衛生規則」をテーマに研修を実施し、技術や知識の向上に努めました。

### (4) 普及啓発活動について

- ① 地域や公共団体が主催する祭りや集会などに積極的に参加し、チラシ・パンフレット・ティッシュを配布するなどシルバー人材センターの普及啓発に努めました。
- ② 関連関係機関を通じて、高齢者の利用率の高い施設の窓口で会員募集チラシを配布していただきました。また、会員との情報共有を図るために「シニア通信・アクティブ」を4回発行しました。
- ③ 会員募集チラシを「シニア通信・アクティブ」と併せて会員に送付し、機会をみて配布していただくようお願いし、会員募集活動に努めました。
- ④ 年金支払い時期に合わせ郵便局にポスターやチラシを掲示し、登録数の少ない地区の会員拡大を図るPR活動を行いました。
- ⑤ 「シニア通信・アクティブ」を通じて、センター会員として就業することが健康寿命を延ばしていくことにつながるということをPRしました。
- ⑥ 千葉商科大学の協力・監修のもと、センターのホームページを見やすくわかり易くリニューアルし、情報発信ツールとしてのPR効果のアップを図りました。

#### (5) 安全・適正就業の推進について

- ① 千葉県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進員の研修会に参加し、「高齢者の交通事故」について学び、センター内での研修会などで役立てました。
- ② 全会員に送付した「シニア通信・アクティブ」に、傷害事故・途上事故の報告および、事故防止や健康管理についての啓発記事を掲載し、安全就業を呼びかけました。
- ③ 全国的にも増えている高齢者の交通事故について、「シニア通信・アクティブ」の送付時や新入会員に対しチラシを配布し、交通安全の周知を図りました。
- ④ 市交通計画課を講師に迎え、「自転車の安全な乗り方」や「交通ルール」についての自転車安全講習会を開催し、年度内に自転車に係わる事故を起こした会員を含めて 22 名が参加しました。
- ⑤ 機械を使つての草刈り作業に就業する 5 名の会員に対して、安全衛生教育の履修を支援しました。
- ⑥ 「熱中症予防について」の講習会を開催し、会員 40 名が参加しました。
- ⑦ 平成 29 年 2 月 1 日発行の「シニア通信・アクティブ」と一緒に「会員状況相談書・ヒヤリハット報告書」を全会員に送付して、就業中のヒヤリハット情報の収集と併せて、就業会員へは就業内容に変更がなく適正に就業されているかの確認と、条件面で折り合わず声掛けができていない未就業会員には希望職種や希望曜日・時間帯などを申告していただき、ミスマッチなく就業紹介ができるよう努めました。
- ⑧ 安全・適正就業強化月間に会員就業先へ巡視を行い、安全・適正に就業が守られていることを確認しました。
- ⑨ 就業先と協議して、契約内容と会員の就業状況について確認のうえ見直しを行い、法令を遵守した適正な就業を図りました。結果として、センターの受託事業の形態として馴染みにくかった 1 事業所、会員 2 名の就業を有料職業紹介に切り替えました。

#### (6) 社会参加活動の推進について

- ① シルバー人材センター会員のボランティア団体「くすの木会」の活動として、江戸川クリーン作戦ゴミ拾い（5 月）に合計 20 名が参加しました。

#### (7) 事業推進体制の強化について

- ① 法人の運営について、法令で求められている手続き等を適正に行いました。
- ② 理事会は 7 回開催し、事業執行方針や規程・規則の改正など重要な案件を協議・検討し、円滑な事業運営が行えるように努めました。

- ③ 委員会活動は、組織を新たにし、企画総務・安全・普及啓発・就業開拓の4委員会体制となりました。

企画総務委員会は4回開催し、各委員会からの報告をもって、事業全般について意見交換をしました。

安全委員会は4回開催し、会員の安全・適正な就業についての意見交換をし、また、就業現場の巡視を行うことで就業状況の安全を確認しました。会員自ら書き込む「事故報告書」の書式を新たに作成し、事故の再発防止を図りました。

普及啓発委員会は4回開催し、入会説明会資料の作成やイベント会場での普及啓発活動など、おもに会員の拡大・確保につながる意見交換をしました。

就業開拓委員会は4回開催し、会員の就業の確保について意見交換をし、就業相談会を行うことで未就業会員を就業に繋げることが出来ました。

- ④ 職員については、全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会等の各種会議・研修会に参加して知識を習得し、日常業務の円滑な執行に役立てました。

- ⑤ 従来1階と2階に分かれていた事務局職員の配置を、2階のワンフロアに統合し、毎日の終礼を継続することで情報と感情の共有化を図り、結果、円滑かつ効率的な業務を行えるようになりました。